2019 年 11 月 8 日

株 式 会 社 岩 手 銀 行

# 「八幡平ＲＰＡセミナー」への協力について

株式会社岩手銀行（頭取　田口幸雄）と八幡平市（市長　田村正彦）は 2016 年 1 月 21 日付で「地方創生の連携に関する協定書」を締結しておりますが、今般、協定に基づく取組みとして、八幡平市で開催される標記セミナーに株式会社岩手銀行が協力することになりましたので、お知らせします。

本セミナーは、観光庁の「宿泊施設の地域連携推進事業」に採択された八幡平ＲＰＡ推進協議会の事業の一環として開催されるものであり、ＲＰＡという定型的なＰＣ業務を自動化できるソフトウェアツールを駆使し、生産性の向上や深刻化する人手不足の解消を実現するヒントを提供するものです。

記

## １．開催概要

(1) 名　　　称：八幡平ＲＰＡセミナー
(2) 開催日時等：2019 年 11 月 15 日(金)　10：00～12：00　八幡平市役所　本庁
(3) 対　象　者：宿泊事業者、働き方改革を進めたい事業者など
(4) 主　　　催：株式会社八幡平 DMO・株式会社タナベ経営
(5) 後　　　援：株式会社岩手銀行
(6) 参　加　費：無料
(7) 定　　　員：100 名（先着）
(8) 申　込　先：次の宛先にチラシ裏面をＦＡＸにてお申込み下さい
株式会社タナベ経営　経営コンサルティング本部　湊　柊一郎　宛
ＦＡＸ　03 – 6758 – 0074

## ２．セミナーの内容

(1) 第一部
テーマ：ＲＰＡを活用した生産性向上
講　師：武政　大貴　氏（RoboWorking チーム リーダー/タナベ経営　東京ファンクションコンサルティング部　本部長代理）

(2) 第二部
テーマ：八幡平でのＲＰＡ推進事例と今後の普及に向けて
講　師：柴田　亮　氏（八幡平ＤＭＯ）
立花　優　氏（デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社）

以　　上

＜本件に関するお問合せ先＞
電話　019 – 601 – 3786　法人戦略部 公務・地方創生室　小澤　諒

人手不足を乗り切り、生産性向上を実現させるRPAセミナー　開催！

## ～宿泊施設の人手不足を解決する 生産性向上ソリューション！～

# 八幡平RPA※セミナー

日本の生産年齢人口は、2045年までに30%が減少する。
とりわけ地方は採用も厳しく、都市部より人手不足が深刻化する。
このピンチをどう乗り切っていくか？！

セミナーを通じて生産性向上・人手不足解消の糸口をつかみましょう！

※ RPA (Robotics Process Automation) = パソコン上でこれまで人間がしていた作業を自動化する仕組み

### 第1部　10:00～11:00

[講師] RoboWorkingチーム リーダー（タナベ経営　東京ファンクションコンサルティング部　本部長代理）

**武政　大貴**

テーマ
「RPAを活用した生産性向上」

<講義のポイント>
①生産性向上・働き方改革の潮流
②RPAとは？
③RPAの導入事例から学ぶRPAの導入ステップ

### 第2部　11:10～11:50

[講師] 八幡平DMO **柴田　亮**

デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社 **立花　優**

テーマ
「八幡平でのRPA推進事例と今後の普及に向けて」

### 日　時

2019年11月15日㊎
10:00～12:00

**先着 100名 限定**

### 会場

八幡平市役所　本庁
住所：028-7397
岩手県八幡平市野駄21-170

### 受講料

無料

### 受講対象

・人手不足にお悩みの宿泊事業者
・働き方改革を進めたい事業者
・無駄な作業を減らして営業や接客に時間を割きたいと思っている事業者

主催：八幡平DMO・株式会社タナベ経営　　後援：株式会社岩手銀行

# お申込みについて

下記申込書にご記入の上、FAXにてお申込ください。

# FAX（03）6758 ー 0074

## 八幡平RPAセミナー　お申込書

| 貴社名 | お役職・お名前 |
|---|---|
| おところ（〒　　　　　　） | |
| TEL | FAX |
| 複数でご参加される場合の講座ご参加者のお役職・お名前を下記ご記入ください。 | |
| お役職・お名前 | お役職・お名前 |

＊ご連絡先・お申込み＊

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-8-2鉄鋼ビルディング９F
株式会社タナベ経営　経営コンサルティング本部
湊　柊一郎
Tel：03-6758-0070　Mail：minato@tanabekeiei.co.jp

## RPAとは

日本の生産労働人口が減少局面にあるなか、労働力を維持しつつ国際競争力を強化Iするためには労働力の有効活用や生産性を向上させるための方策が必要です。近年の働き方改革の動きの中でも、人手不足を補いながら生産効率を上げるためのさまざまな施策が講じられてきています。たとえばテレワークの推進をはじめとするワークスタイルの柔軟化による人材の確保や、ICTの高度活用による業務効率改善といったものがあげられます。

このような背景の下、従来よりも少ない人数で生産力を高めるための手段として、現在、RPA（ロボットによる業務自動化：Robotics Process Automation）が注目を集めています。2017年の調査によると、国内では14.1%の企業が導入済み、6.3%が導入中、19.1%が導入を検討中でした。

**RPAはこれまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウエアにより自動化するものです。**

具体的には、パソコンの操作画面の動きを認識する技術と作業内容の実行を組み合わせ、表計算ソフトやメールソフト、ERP（基幹業務システム）など複数のソフトを使用する業務を自動化します。RPAは業務の粒度や優先順位、コストが投資に見合わないなどの観点からシステム化が見送られてきた手作業の業務プロセスを、作業の品質を落とさず、比較的低コストかつ短期間で導入できるという特徴があります。

　具体的な適用業務としては、帳簿入力や伝票作成、ダイレクトメールの発送業務、経費チェック、顧客データの管理、ERP、SFA（営業支援システム）へのデータ入力、定期的な情報収集など、主に事務職の人たちが携わる定型業務があげられます。

（総務省の説明から一部編集：http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin02_04000043.html　）

**主催：八幡平DMO・株式会社タナベ経営　　後援：株式会社岩手銀行**